

## ◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「笠縫」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	25,877,274円		27,308,276円	各科目において多少予算との差異はあったが全体的に予定通りの金額に収まっている。当初予定していた行事がいくつかなくなってしまったが、その分コロナでもできる行事に注力し利用者に還元する事ができた。(差額については、おやつ代等で対応)	利用者さんから笠縫の行事や支援員間の雰囲気を高く評価されている事や、その事が入所前の段階から入所の決め手とされる事も聞いているので、ニーズに応えられるよう維持・向上を目指していく。
施設HPアドレス	<a href="mailto:capp49202@Offce.eonoet.ne.jp">capp49202@Offce.eonoet.ne.jp</a>		2年目	23,587,856円		24,931,143円	各科目において多少予算との差異はあったが全体的に予定通りの金額に収まっている。当初に予定していた行事がいくつか中止になっていたがその分コロナでも出来る事に注力し利用者に還元する事ができた。(差額については、おやつ代等で対応)	利用者さんから笠縫の行事や支援員間の雰囲気を高く評価されている事や、そのことが入所前の段階から入所の決め手とされ聞いているので、ニーズに応えられる様に維持・向上を目指していく。
指定管理者名	労働者協同組合 労協センター事業団		3年目	22,917,171円		25,981,166円	各科目において多少予算との差異はあったが全体的に予定通りの金額に収まっている。当初に予定していた行事がいくつか中止になっていたがその分コロナでも出来る事に注力し利用者に還元する事ができた。(差額については、おやつ代等で対応)	利用者さんから笠縫の行事や支援員間の雰囲気を高く評価されている事や、そのことが入所前の段階から入所の決め手とされ聞いているので、ニーズに応えられる様に維持・向上を目指していく。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目	23,474,997円		25,479,181円	各科目において多少予算との差異はあったが全体的に予定通りの金額に収まっている。当初に予定していた行事を行うことが出来た。	利用者さんから笠縫の行事や支援員間の雰囲気を高く評価されている事や、そのことが入所前の段階から入所の決め手とされ聞いているので、ニーズに応えられる様に維持・向上を目指していく。
評価対象期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		5年目	21,230,637円		23,230,970円	各科目において事前に決めた予算との誤差はあったが全体を通して予算通りに収まっている為、全ての行事ができた。	利用者さんから笠縫の行事や支援員間の雰囲気を高く評価してくださる事や兄弟等の繋がりもある事で入所の決めてとなっている様なので、利用者さんのニーズに応えられる様に向上を目指していく。

### ●総合評価の基準

5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
3	☆☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

### ○その他の項目

公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成14年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

### ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)			事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)
感染症の制限も少なく以前の様に色々な事に取り組む事ができた。また、保護者アンケート調査を行い、保護者さんの声に耳を傾けその課題とニーズを掴み運営して行く。また、支援員の向上を目指し日々のミーティングや支援員会議等でそれぞれの支援員が見た事や聞いた事を共有し学びの場とし、保育現場に還元していく。			概ね適正な管理運営ができている。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)			公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証
今年度は春の遠足やハロウィン等にこに子と合同で行う事ができた。また、夏祭りでは、保護者さんをお招きして子ども達の縁日の姿やダンスの発表など子ども達の成長と一緒に見ることができた。生活リズム等も子ども達とも考えながら学ぶ事ができた。			(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比較して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブではなく、利用料金制の導入は行っていない。
保護者さんから意見等も頂いたがしっかりと話し合いの場を持ち理解してもらう事ができたと感じる、その保護者さんからとも良好な関係作りに励んだ。研修についても市が開催や事業所の研修に参加することができた。			

◇施設に係る主な指定管理業務

- 草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務  
 (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務  
 (2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務  
 (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

◆評価基準

☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務（職員の配置や研修の実施、入所状況等）（仕様書 P1.2）

指定管理者の自己評価

評価項目1	上半期評価	上半期は、支援員の配置をしっかりとすることができたが、課題も出てきがその都度支援員と話し合い課題に取り組む事ができた。また、ZOOM等で保育で必要な研修を受け、支援員の向上をはかることができた。
	下半期評価	下半期は、上半期と同様に子どもを含め支援員の課題に取り組む事ができた。また、支援員の向上とし市の研修だけでは無く事業所の研修をZOOM等で受ける事ができた。その為大きな行事等に取り組む事ができた。
評価項目2	上半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。研修にも積極的に参加され、支援員の資質向上に努められた。
	下半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。市が実施する研修にも積極的に参加され、支援員等の資質向上に努められた。

市（施設所管課）の評価

事業の実施に関する業務（保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等）（仕様書 P1.2）

指定管理者の自己評価

評価項目2	上半期評価	今年度も入所説明を行う事ができた。のびっ子の生活リズムに慣れてもう為に必要なルール、過ごし方について説明をし子ども達のペースに合わせて保育する事ができた。また、見えてきた、課題に対して支援員会議等で話し合い取組む事ができた。また、個人情報に関しては厳重に保管する事ができた。
	下半期評価	今年も大きい行事である夏祭りは保護者の皆さんにも参加してもらい一緒に楽しむ事が出来た。個人情報も上半期と同様に厳重に管理し、保管した。子ども達の中で沢山の思い出があったようでお別れ会は、涙涙の日となった。
評価項目3	上半期評価	工夫され時季に合ったイベントを実施された。集団生活の中で、のびっ子内でのルールの定着を図り、規則正しい生活リズムを身に着けるよう指導されていた。
	下半期評価	工夫され時季に合ったイベントを実施された。個人情報については、取り扱いに細心の注意を払い管理された。

市（施設所管課）の評価

児童の保育に関する業務（おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等）（仕様書 P2.3）

指定管理者の自己評価

評価項目3	上半期評価	今年度も行事の様子や日々の子ども達の様子をコドモンにて保護者さんに配信した。またすぐ伝える事も伝える事が出来た。また、課題がある児童等は支援員会議や放課後等デイサービスの支援員に相談し対応する事が出来た。また、子どもと一緒にのびっ子を作ることで子ども達の協力は助かつた。
	下半期評価	下半期では、子ども達の協力もあり色々な事をする事が出来たが子ども達の課題も見えてきた、子ども達の課題に関しては支援員会議や他現場の方々の意見を聞きながら課題改善に努める事が出来た。また、保護者さんにアンケートを取り保護者さんの意見に耳を傾ける事もできた。
評価項目4	上半期評価	おたよりを通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。また、必要に応じて個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	下半期評価	おたよりや送迎時の時間を通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。実施した保護者アンケートの内容を協議し、その内容を保護者にきちんと還元することで、保護者とのコミュニケーションを図ることに努められた。

市（施設所管課）の評価

管理物件の維持保全等に関する業務（保守点検、安全対策等）（仕様書 P3.4）

指定管理者の自己評価

評価項目4	上半期評価	アシリティーマネジメントを行い、施設の点検項目を報告した。いくつかの破損場所が見られたが修理出来る所は市役所さんの協力もあり修理する事ができたのだが、修理費用が高額な場所は保留である。
	下半期評価	畠など劣化していたところは修繕費等を使い修繕する事ができた。また、施設の法定点検を行い異常は見慣れなかった。また、施設外のネットの修理も行われた。
評価項目5	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて点検や訓練を実施された。日々の点検を通じて修繕箇所を把握し、安全対策に努められた。
	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて点検や訓練を実施された。日々の点検を通じて修繕箇所を把握し、安全対策に努められた。

市（施設所管課）の評価